



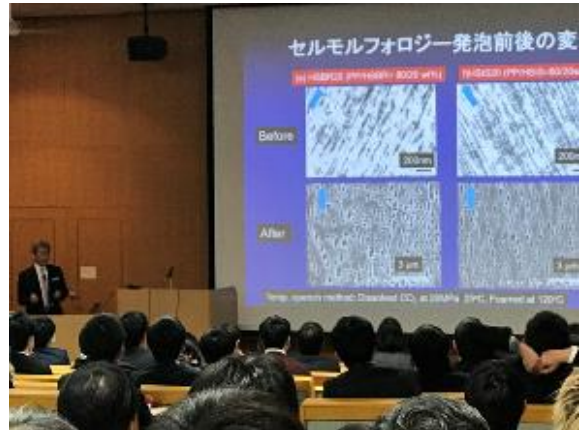
## 「第21回化学工学会学生発表会」に参加しました

3月2日（土）に、「第21回化学工学会学生発表会」が、京都大学桂キャンパスを会場として開催されました。これは、高校生、高専生及び大学生が、研究成果の発表と闊達な討論を行うことで、研究者あるいは技術者として堅実に成長する機会を提供することを目的として、公益社団法人化学工学会の主催で行われている大会です。

本校からは、サクラのアレロパシー物質について研究活動に取り組んでいる、科学部2年生の西耕史君、1年生の瀬戸口智暉君、中島龍星君、舘川昭光君、土橋周平君、高丸佑月さん、江崎太陽君が参加しました。「サクラの葉による発芽・成長抑制」の研究について、口頭発表を行い、大学の先生方からの質問に答えました。

また、京都大学工学研究科 大嶋正裕 先生による講義「Chemical Engineer っておもしろい?!-泡の研究を通して-」を受講しました。産学連携による新しい発見や化学工学分野の研究成果を実用化する事例について紹介いただきました。

今回の口頭発表や質疑応答の経験を今後の研究活動に活かしてほしいと思います。



## 「科学へのとびら」に参加しました

3月17日（日）に、佐賀大学で「科学へのとびら」が開催され、理数科1年生と2年生がそれぞれ参加しました。

まず、1・2年生合同で、県内高校2年生による、課題研究の口頭発表を聴講しました。本校からは、2年生の許すずなさん、田原亜季さん、真茅紗那さん、矢川凜さん、松鶴実香さんが「SSH研究Ⅱ」の授業で1年間取り組んできた、「オオクビキレガイに対する忌避効果」が発表されました。

その後、1年生は、佐賀大学理工学部 田中 徹 先生に、「研究を始めるにあたって」と題して、「そもそも研究とは?」、「科学研究の種類」、「どんなテーマに取り組むか」、「高校生研究の良い例」、「課題研究の目的、テーマ設定のポイント」等についてご講演いただきました。

2年生は、佐賀大学理工学部 成田貴行 先生に、「『科学』を使う人の影響力」と題して、「科学の役割」、「科学技術の良い点とリスク」、「STAP細胞事件の事例紹介」、「研究の不正行為の事例紹介」、「科学技術を取り扱う人への期待と責任」等についてご講演いただきました。

いろいろな課題研究発表の聴講や大学の先生方による講義を通じて、自分達の研究活動を俯瞰的・客観的に捉える機会にしてほしいと思います。

